

会員からの便り

新日鐵住金株式会社
名古屋製鉄所 薄板部冷延技術室

大黒 太郎

平成 9 年卒業(第 56 回)



卒業してから 20 年が経過しましたが、名古屋大学は身近にある故郷のように感じています。

北部生協の近くの水力実験棟で徹夜で実験したり、仲間と過ごした(遊んだ・・・?) 日々は今でも心の拠り所です。

会社に入って、鉄づくりエンジニアとして設備投資の企画・実行、新商品・プロセス開発、またあるときには工場長として現場で働く 100 人近い方々の管理者を、複数の立場を経験させてもらい現在は、技術室の室長です。室内 11 人の部下の中には名古屋大学が 2 人いてそれぞれの昔話・武勇伝を面白おかしく語ったりもしています。

最近では、去年東山会の企業理事として参加した会合で、学生の頃に親しくしていた友人の竹内秀紀君と久しぶりに会うことができ、イブニングサロンの講演会と一緒に講義室で聴講しましたが、当時の講義風景が過りととても懐かしく感じました。

帰りにラーメンを食べながら、それぞれの会社に入ってから昔話・武勇伝を面白おかしく加えて会社では言えないことも話すことができてスッキリした気分で帰宅しました。

現在、私が働いている鉄鋼業界では海外での現地生産が主流となりつつあり、輸出は減少し、国内需要も低迷する中で企業再編の動きも見えてきています。その中で日本の企業が勝ち抜いて行くためには、より価値のある製品づくりだけでなく、ソリューションによる価値の創造、企業間連携が必要だと思っています。いつか、大学で過ごした仲間たちとそんな仕事ができればいいなと思っています。

追伸

妻も名古屋大学卒業。当時は仲良かったですが今では喧嘩ばかり。

いつか、二人で大学を訪れる機会があればまた仲良くできるかな・・・！？